

目 次

まえがき

序 章

- 1 「参照」をめぐる前提問題 1
- 2 日本における「参照」事例の意義 6
- 3 これまでの憲法学説の対応 17
- 4 本書の問題意識 22
- 5 本書の対象 29

第 1 部 憲法解釈における国際法規範の「参照」

第 1 章 カナダにおける国際法規範の地位と「参照」—— 33

- 1 カナダにおける国際法規範の地位とディクソン・ドクトリン 33
- 2 国際的義務のない国際法規範の「参照」とディクソン・ドクトリン 44

第 2 章 憲法解釈における国際的義務のない国際法規範の「参照」の展開—— 56

- 1 キーグストラ事件以降の国際的義務のない国際法規範の「参照」 56

- 2 国際法規範の「参照」に対する懸念とその後の展開 79
- 3 カナダ最高裁判決における国際的義務のない国際法規範の「参照」傾向と類型 97

第2部 国際法規範の「参照」の正当性とその限界

第1章 「参照」を支える憲法解釈理論とその限界—— 117

- 1 「参照」を支える要因——カナダ最高裁における司法積極主義 117
- 2 憲法解釈における「生ける樹」理論と国際法規範の「参照」 142
- 3 裁判官による国際法規範の「参照」の限界 166

第2章 憲法解釈における「参照」の正当性とその限界— 191

- 1 憲法解釈における「参照」の正当化議論 191
- 2 国際法規範の「参照」の正当性とその限界 211

補論 外国法および外国判例の「参照」——— 230

- 1 カナダにおける外国法および外国判例の「参照」 230
- 2 外国法および外国判例の「参照」状況とその意義 231
- 3 外国法・外国判例の「参照」の背景と根拠 235
- 4 補論のまとめ 240

終章——— 241

- 1 国際法規範の「参照」の正当性 241
- 2 国際法規範の「参照」と憲法の関係 245
- 3 国際法規範の「参照」と憲法第98条2項の規範的意義 247

- 4 国際的義務のない国際法規範の「参照」と憲法第98条2項 249
- 5 裁判所による国際的義務のない国際法規範の「参照」の正当化可能性とその限界 255

あとがき

初出一覧